

授 業 科目名	【 G 】	教養演習 I・II				区 分		開講年次	【 G 】 2	単位数	【 G 】 2
	【 H 】	教養演習 I・II				選 択 必 修			【 H 】 2		【 H 】 2
科目区分	基本科目										
授業形態	対面授業										
担当形態	単 独										
施行規則に定める科目区分又は事項等											
サブ タイトル	英語でコミュニケーション							担当者	大倉 直子		
授業概要	【概要】	このクラスでは、次の2つのテーマで1年間の学修を進める。 ①【場面で学ぶ英会話】 英語を実際に使えるようになるには、多様な場面や状況に応じたやり取りのしかたを学ばなくてはならない。学校で、オフィスで、旅行先で、相手の質問や意見を聴き取り、適切に答えてはじめてコミュニケーションが成立する。場面に即したコミュニケーション・スキルを磨き、使える英語を身につけていく。 ②【意見を述べる英会話】 新聞記事や動画、映画等を取り上げ、自分の意見を述べ、英語の表現力の幅を広げる。									
	【到達目標】	①場面に応じた会話のしかたを学び、英語でコミュニケーションができるようになる。 ②現代社会や文化について考えを深め、英語で自分の意見を述べながら、相手の意見も理解して協働できるようになる。									
履修条件	英語 I の単位を修得済みであること。履修には教科書の購入が必要です。										
アクティブ ラーニング の方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク			
	【－】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【－】	対話・議論型授業	【○】	ロールプレイ			
	【○】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他			
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①		－（当てはまらない）								
	DP(ディプロマ・ポリシー)②		◎（よく当てはまる）								
	DP(ディプロマ・ポリシー)③		◎（よく当てはまる）								
	DP(ディプロマ・ポリシー)④		－（当てはまらない）								
他科目との 関連性	並行して、英語Ⅱ～Ⅳを順に履修することが望ましい。また、オンライン留学(海外短期語学研修)への参加、言語圏文化論等の履修を通して、国際的な視野を広げていくことが望ましい。										
教科書	書名:Speak Now (Level 1) 著者:Jack C. Richards and David Bohlke 出版社:Oxford University Press ISBN:978-0194030151										
参考書	適宜、資料を配布する。										
評価方法	授業での取組み(英語4技能タスク):60%、提出物・小テスト:40%										
フィードバック 方法	テスト返却の際にコメントと模範解答を提示する。会話作成の際に添削する。										
評価基準	「評価方法」における得点が90点以上で授業内容に深い理解がみられる者を「S」(Fカリキュラムは「A」)、80点以上で十分な理解がみられる者を「A」、70点以上で基本的な理解はできている者を「B」、60点以上で理解の一部に不十分な点がある者を「C」とし、60点未満で理解に誤りが多い者は程度に応じて「D」または「E」とする。なお、会話テストの欠席など、評価不能な場合には「F」とする。										

授 業	【 G 】	教養演習 I ・ II	区 分	開講年次	【 G 】 2	単位数	【 G 】 2
科目名	【 H 】	教養演習 I ・ II	選 択 必 修		【 H 】 2		【 H 】 2
授業内容	次の①②の2つのテーマで1年間の学修を行う。 取り上げる内容の例は以下の通りだが、受講者の英語のレベル、これまでの学修の背景、興味を考慮して、より実践的な演習を行う。 ①【場面で学ぶ英会話】 ・場面に即したコミュニケーション・スキルを磨き、使える英語を身につける。 具体的な内容: 自己紹介して友達を作る、人の特徴について話す、出掛ける約束をする、映画や音楽について話す、旅行先で買い物をする、自分の国の文化や暮らしについて話す、など。 ・教科書に収録されているドラマを視聴して、活きた英語のリスニング・スピーキング練習に取り組む。 ・英語の音と日本語の音の違いについて学び、リスニングや発音練習に取り組む。 ②【意見を述べる英会話】 ・新聞記事や動画、映画等を取り上げ、自分の意見を英語で述べて、表現力の幅を広げる。クラスメートとディスカッションして意見を交換し、多様な考え方を学ぶ。 ・自分の好きな映画を選んで英語でプレゼンテーションを行う。 〈アクティブラーニング〉 ・受講者がペアになってシチュエーションを想定した英会話を発表する。 ・社会問題や文化について自分の意見を発表し、クラスでディスカッションを行う。						
予習内容	教科書の単語を調べ、英語の音声を聴いてくる。また、発表担当の回は、発表の準備をする。 なお、各回の予習時間は90分を目安としてください。						
復習内容	発音できなかったところや聴き取れなかったところを練習する。 なお、各回の復習時間は90分を目安としてください。						
その他	英和・和英辞書(オンライン可)を用意する。 ※Gカリ:【 I は選択必修(A)・II は選択必修(B)】						